

東山温泉(若松)との絆 紹介

80年前 集団疎開した根岸小(東京台東区)

根岸小児童の疎開と東山盆踊り
りを紹介した「根岸だより」



根岸だより

令和6年4月16日
第33号 東京台東区立根岸小学校
発行 1ページ
TEL 03-3879-2111

集団学童疎開から80年



集団学童疎開から80年

同校が6月末に発行した学校広報「根岸だより」に東山盆踊りの長が「集団学童疎開から80年」と題し、1944(昭和19)年8月に始まった疎開などを振り返っている。

当時、男子は会津坂下町、女子は東山温泉に疎開した。小西校長は疎開児童のために東山盆踊りが開催されたことを初めて知ったと

しい気持ちを抱えていた子供たちにとって、大きな安心感を与えた。また、疎開中の写真とともに、「大きな不安と悲しみを抱えていた子供たちにとって、東山の山盆踊りが開催されたことは、心から感謝している」と述べている。

太平洋戦争末期、会津若松市の東山温泉に児童が集団疎開した東京都台東区の根岸小で、当時の児童を励まそうと開催された東山盆踊りの経緯や、今夏復活する盆踊りが保護者や児童に紹介された。80年の時を超えて、歴史的なつながりを巡る共感の輪が広がっている。

「盆踊り」に思い寄せ

東山の人々の温かい心遣いはどれほど大きなかつたことでしょう」と思いを寄せた。コロナ禍を経て8月に5年ぶりに開催される今回の盆踊りについても、東山温泉観光協会が制作したPRポスターを掲載しながら「80年前、本校の児童がお世話になった東山の皆さんに、心から感謝申し上げたい」とつづった。

今年は台東区が盆踊りを区内にPRするなど、東山温泉と台東区の縁が復活した。市内の関係者からは、「ゆかりの学校でも盆踊りに关心を寄せてくれば、これまでの感謝の気持ちを伝えることに感謝の声が上がっている。